

## 会 議 録

<b>会議名</b> (審議会等名)	第 5 5 回相模原市社会福祉審議会児童福祉専門分科会		
<b>事務局</b> (担当課)	こども・若者未来局 こども・若者政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 3 1 5 (直通)		
<b>開催日時</b>	平成 3 0 年 7 月 3 0 日 (月) 午後 7 時から 8 時 3 0 分まで		
<b>開催場所</b>	けやき会館 2 階 職員研修所 大研修室		
<b>出席者</b>	<b>委員</b>	1 0 人 (別紙のとおり)	
	<b>その他</b>	0 人	
	<b>事務局</b>	1 8 人 (こども・若者未来局次長、他 1 7 人)	
<b>公開の可否</b>	可      不可      一部不可	<b>傍聴者数</b>	0 人
<b>公開不可・一部不可の場合は、その理由</b>			
<b>会議次第</b>	1 開 会  2 こども・若者未来局次長あいさつ  3 議 題 ( 1 ) 民間保育所の設置認可について ( 2 ) 相模原市母子保健計画の進捗状況について  4 閉 会		

主な内容は次のとおり。【 は委員の発言、 は事務局の発言】

## 1 開 会

## 2 こども・若者未来局次長あいさつ

## 3 議 題

### ( 1 ) 民間保育所の設置認可について

今回の保育所新設は待機児童の解消を目的としたものとのことであったが、これにより状況の改善は見込めるのか。

改善が見込めると考えている。

今回、認定保育室から認可化を申請した保育所で公園を代替園庭としているものがあるが、課題等は生じているか。また、今回代替園庭として申請のあった公園を代替園庭としている保育所等はどれくらいあるのか。

現在も公園を利用しているが、特に課題・トラブル等は生じていないと認識している。今回の公園を代替園庭としている保育所等の数については把握できていない。

代替園庭については、過去に何度も本分科会で議論になっている。それにもかかわらず、代替園庭としている保育所の数を把握していないのはいかがなものか。

園庭に関する課題は市も認識しており、今後一定の整理をしていく。

同じ公園に利用者が集中してしまっているということも聞くので、状況を精査する必要があるのではないか。

今年度、園庭のない保育所や小規模保育事業所にアンケートを行い、状況の把握に努めているところである。利用者同士お互いに譲り合い、課題を解決しながら、公園の利用がされていると認識している。

保育所等が増えている中で、代替園庭について表立った問題が出てきていないのは施設ごとに上手く調整ができているためである。地域の人とも一緒に遊んだり、おもちゃの貸し借りをしたりなどしているが、これから保育所等がさらに増えると、問題が生じる可能性もある。

今回のケースでは、代替園庭である公園へ行くのにどのくらい時間がかかるのか。

子どもが歩いて10分程度である。

公園は、地域の誰もが利用できるものであるため、代替園庭として公園等を利用する認可の際は、事前に地域とのトラブルがないかということもしっかりと確認をしてほしい。

今年のような猛暑となると、徒歩10分というのも幼児にとっては厳しいものになり

かねない。

土地がない場合に代替園庭を利用することが認められていることは承知しているが、代替地が保育所等に通う乳幼児にとって適当であるかどうかについては、十分な確認を行政にお願いしたい。

申請があった際には代替園庭についてよく確認し、本分科会において情報を示すことができるよう検討していく。

今回の保育所新設に当たり保育士が必要となるが、保育士の人材不足といわれる中でどのような取組をしていくのか。

他園で勤務している保育士の活用や新規採用を予定している。

質の高い保育を行っていくために、市はどのような取組を行っているのか。

今年度の5月から市内の保育者向けにステップアップ研修を行っている。1回の研修でおおむね100名を集め、延べ1万名が受講できるよう取り組んでいる。現在のところ、参加率も高く、多くの方に参加していただいている。

災害時の取組など、市から新設の保育所等へ説明する機会はあるのか。

必要なマニュアルや市の取組については、説明会や勉強会で周知を図っている。

#### ( 2 ) 相模原市母子保健計画の進捗状況について

産後のケアについて、産婦健康診査の補助券を配布している自治体もあるが、そのような取組を行う予定はあるのか。

課題のある妊産婦については、母子健康手帳交付時の面談やこんにちは赤ちゃん事業を通じてフォローに努めている。産後ケア事業や産婦健康診査事業については、産後うつ防止や育てにくさの解消、ひいては児童虐待の防止に繋がるため、非常に重要だと認識している。一方で乳幼児健診の体系などにも関わる大きな変化となるため、関係団体等とよく調整をしていきたい。

4 その他

5 閉 会

市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 委員名簿

(平成30年7月30日)

番号	氏名	役職・推薦団体	備考	出欠
1	はら ひろこ 原 裕子	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
2	とつか ひであき 戸塚 英明	相模原市社会福祉協議会		出席
3	うちだ のりこ 内田 紀子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
4	かわさき ひさし 川崎 永	相模原市幼稚園・認定こども園協会		出席
5	たがわ つくよ 田川 継世	相模原市ひとり親家庭福祉協議会		欠席
6	おおみぞ しげる 大溝 茂	桜美林大学特任教授	専門分科 会長	出席
7	たけした まさゆき 竹下 昌之	相模女子大学常務理事	職務代理	出席
8	さくらい なつこ 櫻井 奈津子	和泉短期大学教授		出席
9	あらい みゆき 荒井 美由紀	相模原市立小中学校長会		欠席
10	あいざわ ゆみ 相澤 由美	相模原人権擁護委員協議会		出席
11	しながわ よういち 品川 洋一	相模原市医師会		出席
12	たじま としき 田島 敏樹	相模原市医師会		出席